

会員活動報告

●村島秀次理事の活動

・令和元年12月14日 史友会創立5周年記念大会で講演（サンパール荒川）

・令和2年1月9日 修士論文「大宝令成定期の門籍・門勝制」を学習院大学に提出、審査の結果、文学修士（史学）号を取得
・令和2年2月17日 学習院大学博士課程進学試験に合格し、4月から博士課程へ進学

受贈図書

全国各地の歴史研究団体より、会報等をご惠贈いただきました。紙上より厚くお礼申し上げます。

（令和2年3月31日現在
最新到着分を掲載いたします。）

◇日立歴史研究会

「ひたち歴史」第388号

◇江戸の歴史研究会

「会報江戸」

NO163～NO165

◇静岡県歴史研究会

「会報」第156号～157号

◇愛知歴史研究会

「あいち歴史会誌」

第163号

◇しんあいち歴史研究会

「歴史会誌」第77号～78号

◇大阪歴史懇話会

「会報」第421～425号

◇兵庫歴史研究会

「歴史ひろば」

第274～275号

◇兵庫歴史研究会

「歴史おやかま」第26～

27号

◇岡倉天心市民研究会

「天心報」第32～33号

会報第81号原稿募集

本年十一月末日発行予定の会報第81号の「特集テーマ原稿」と「一般原稿」の募集を行います。第80号からカラーになった表紙写真も公募いたしますので皆さま奮ってご応募くださるようお願いいたします。

●特集テーマ原稿募集

今回のテーマは「復活」です。新型コロナウイルス騒動からの復活のみならず、過去のさまざまな歴史的混乱からの復活に関して、幅広く取り上げていただきたいと思っております。皆さまの積極的なご応募をお待ちしております。

○会員配布日、原稿提出先は一般原稿と同じです。

●一般原稿募集

自由なテーマでの一般原稿を左記のとおり募集いたします。

【投稿規定】

○内容 研究論文、エッセイ、俳句、短歌、詩など

○字数 会報4頁以内（1頁に1800字入りませんが、このスペースには題名欄、文字間の空白、写真、表、地図などすべてを含みます。なお研究論文、エッセイはワードでの電子データで投稿ください。なお、俳句5句以内、短歌7首以内、詩30行以内です。

○原稿締切日 9月末日。

○会員配布日 12月例会日

○原稿提出先

〒221-0834

横浜市神奈川区台町

9-2-501

山本 修司

☎045-323-0605

Eメール yamamomoy223@gmail.com

50453230605

【投稿規定】
○内容 論文、エッセイ
○字数 会報2頁以内（1頁に1800字入りませんが、このスペースには題名欄、文字間の空白、写真、表、地図などすべてを含みます。ワードでの電子データで投稿ください。）
○原稿締切日 9月末日。



編集後記

世界保健機構(WHO)がパンデミック(世界的な大流行)宣言した新型コロナウイルス感染症に世界中が震撼している(令和2年3月時点)。このような事態を1月の時点で素早く予測された松尾光先生から特別寄稿をいただいた。まさしく正鵠を射たご投稿であり、感謝に堪えませぬ。医学の進歩は感染症との戦いでもあり、松尾先生は古代からの天然痘との戦いについて詳細に述べられている。

感染症との戦いはさらに、ペスト、梅毒、ハンセン病、インフルエンザ、コレラ、マラリア、麻疹(はしか)、猩紅熱、結核、チフス、黄熱病、ポリオ、エボラ出血熱、エイズ、日本脳炎、コロナウイルス(SARS,MARS,COVID-19)等々枚挙にいとまがない。これらの感染症克服のために数多くの研究者が歴史を紡いできたの

である。我が国の研究者の貢献も数多い。例えば北里柴三郎はペスト菌発見(1894)、志賀潔は赤痢菌発見(1898)、野口英世は黄熱病や梅毒の研究に大いに寄与し、秦佐八郎は梅毒治療薬のサルバルサンの発見(1910、世界初の化学療法剤とされている)等々の成果を上げた歴史がある。

新型コロナウイルス感染症は無症状感染者にも感染能力があり、しかも感染すると高齢者ほど重症化する傾向があるともいわれ、我々を不安に陥れているが、いずれこれも克服される日は近いと信じている。

コロナ休校で最近頻繁に近くに住む孫がやって来るが、心境は『孫が寄る気づかず感染予測不可』コロナは寄るな不安がよぎる』である。

次号(81号)は原稿募集の項に記載しましたが、「一般原稿」の他に「特集テーマ原稿」として『復活』の募集をいたします。皆さまの積極的な応募を期待しております。

